

平成25年台風26号 伊豆大島 土砂災害 中部地方整備局TEC-FORCEの活動状況

TEC-FORCE

Technical Emergency
Control FORCE



自衛隊からの要請に基づき、土砂堆積工で補足された流木の撤去状況について東京都職員と確認を行っているところ(迷彩柄が自衛隊重機)

～緊急災害対策派遣隊～
国土交通省 中部地方整備局

「二次災害を防止するために」

中部地方整備局 TEC-FORCE は次の活動を実施しました

- ① ヘリコプターによる広域的な土砂災害発生状況調査
- ② 土石流危険渓流や急傾斜地危険箇所の緊急危険度点検
- ③ 捜索活動や応急対策活動のための現地危険度判定
- ④ 避難勧告・解除の判断支援として、土石流危険渓流等の巡回監視
- ⑤ 砂防堰堤等の、土砂災害防止のために重要な施設の緊急的な点検

平成25年11月
国土交通省 中部地方整備局

被災状況及び中部地方整備局によるTEC-FORCE隊の活動状況

伊豆大島(東京都)では、台風第26号の通過に伴ない連続雨量824mm、最大時間雨量122.5mm/hもの豪雨となり、広範囲に表層崩壊が発生し大規模な土石流となって伊豆大島の中心街に流下し、死者35名、行方不明者5名に達する甚大な被害が発生しました。(11月7日15時現在内閣府発表より)。

■ 中部地方整備局によるTEC-FORCE隊の主な活動状況

10月16日～11月2日まで、職員延べ214名を派遣し被災状況調査を実施

- 10月16日 伊豆大島支援のため中部地方整備局内に応援対策本部を設置
被災状況を俯瞰するため伊豆大島に防災ヘリ(まんなか号)を派遣し、上空より調査
- 10月18日 TEC-FORCE第1陣を伊豆大島へ派遣(被災状況調査班(砂防班)、広報班)、現地調査開始
- 10月19日 太田国土交通大臣より訓示
17:00 伊豆大島避難勧告発令(関係1,000世帯)
大島町より要請のあった応急復旧資材(土のう袋4,000袋)を、防災ヘリ(まんなか号)により大島空港へ搬送
- 10月21日 8:00 大島町避難勧告解除
東京都にTEC-FORCE活動の説明
- 10月22日 第2陣を派遣。第1陣は帰還。
- 10月23日～24日 現地調査実施(流出実態調査等)
- 10月25日 15:00 全島避難勧告発令
17:20 一部地域に避難指示発令
- 10月26日 台風27号通過後、島内の土石流危険溪流の現地調査を実施。
避難指示の解除等に活用するため、調査結果を大島町に報告。
17:24 避難指示が全て解除
- 10月27日 現地の捜索活動の再開に向け、自衛隊、消防、警察、大島町に対し、現地の状況を説明
- 10月28日 第3陣を派遣。第2陣は帰還。
- 10月29日 国土交通本省及び土木研究所とともに安全確認調査を実施
- 10月30日～11月1日 砂防施設点検等を実施
- 11月2日 調査結果を東京都及び大島町へ報告 第3陣帰還
応援対策本部廃止



伊豆大島で支援物資の土のう袋を、大島町職員と共に、まんなか号から運び出している様子

①ヘリコプターによる広域的な土砂災害発生状況調査

10月16日11時30分に静岡ヘリポートを離陸。中部地方整備局保有のヘリコプターで、上空から広域的な土砂災害発生状況を調査。甚大な被害が発生している状況をヘリからの映像中継等で把握し、支援項目等の検討が即座に開始されました。



まんなか号から撮影した土砂災害が集中して発生している地区の状況。(左:伊豆大島元町地区遠景、右:近景、大金沢周辺)

おおがなざわ

中部地方整備局TEC-FORCE隊員の活動状況

② 土石流危険渓流や急傾斜地危険箇所の緊急危険度点検

警戒避難体制等の検討に活用していただくために、土石流危険渓流や急傾斜地危険箇所では土砂の移動状況や人家との位置関係等を調査し、危険度をA、B、Cの3段階で評価しました。



人家裏で発生した崩壊について規模や堆積状況を調査している様子



地元の方から溪流の状況について聞き取りしているところ

③ 搜索活動や応急対策活動実施のための現地危険度判定

自衛隊や消防、警察等の関係機関による、搜索活動や応急対策への支援として、降雨後の作業再開時等に、国総研や土研と共に現地の危険度判定を実施しました。



現地で関係者に現地状況を説明。その後、搜索活動再開



降雨前の状況資料を持参し、現地で状況変化を調査

④ 避難勧告・解除の判断支援として、土石流危険渓流等の巡回監視

集落周辺に土砂等が大量に堆積しており、再度流出する危険性が高い状況でした。そのため避難勧告・解除の判断支援として、危険度の高い箇所や避難所周辺を巡回監視し情報提供しました。



空中写真を活用して、現地で巡回ポイントを確認しつつ調査



現地で調査した結果を、前の巡回時の写真と比較して分析

⑤ 砂防堰堤等の、土砂災害防止のために重要な施設の緊急的な点検

災害申請に必要な基本データを確認するため、砂防施設の施設被災状況の調査を実施し、東京都及び大島町へ調査結果を情報提供しました。



砂防堰堤の損傷や土砂・流木の堆積量を調査



溪流保全工背後の洗掘状況を調査

土砂災害から身を守るために知っていただきたいこと

土砂災害から身を守るために、台風や大雨の際は、土砂災害に注意してください

①お住まいの場所が、土砂災害警戒区域か確認する。

過去に発生した土砂災害の実績による指定基準を基に、都道府県では土砂災害のおそれがある区域を「土砂災害警戒区域」として指定を進めています。

普段からお住まいの場所が土砂災害警戒区域に指定されているか、土砂災害危険箇所ではないか、インターネットなどで確認しましょう。

インターネットをお持ちでない場合は、お住まいの市町村役場に問い合わせください。

②土砂災害警戒情報や雨量の情報に注意する。

大雨による土砂災害発生の危険度が高まった時には「土砂災害警戒情報」が発表されます。**雨が降り出したら、雨雲の動きや土砂災害警戒情報に注意しましょう。**

土砂災害警戒情報は、テレビ・ラジオの天気情報やインターネットで確認できます。都道府県によっては、携帯電話等に自動的に土砂災害警戒情報を連絡するサービスもありますのでご利用ください。

③大雨時や土砂災害警戒情報が発表された際には早めに避難する。夜間に大雨が予想される際は暗くなる前に避難する。

がけ下や溪流沿いなどにお住まいの方は、**大雨の際や土砂災害警戒情報が発表された際には、早めに近くの避難所などの安全な場所に避難しましょう。**

また、夜間に大雨が予想される際には、暗くなる前に避難をすることがより安全です。お住まいの自治体の避難勧告などの情報に注意して、早めの避難を心がけましょう。

なお、豪雨などで避難所への避難が困難なときは**次善の策**として、近くの頑丈な建物の二階以上に緊急避難したり、さらに困難な際は、家の中のがけから離れた部屋や二階などの少しでも安全な場所に移動しましょう。

中部地整管内の県の防災情報はこちらから

【愛知県】

あなたの身近な土砂災害危険箇所

<http://www.pref.aichi.jp/0000013527.html>

(上記ページから「愛知県土砂災害情報マップ」をクリック)

愛知県川の防災情報

<http://www.kasen-owari.jp/>

愛知県土砂災害防災情報

<http://www.sabo.pref.aichi.jp/01.phtml>

【三重県】

三重県川の防災情報

<http://www.pref.mie.lg.jp/kawasabo/hp/river/>

三重県土砂災害情報提供システム

http://www1.sabo.pref.mie.jp/mie_gis/start.php

【岐阜県】

岐阜県川の防災情報

<http://www.kasen.pref.gifu.lg.jp/>

ぎふ土砂災害警戒情報ポータル

<http://alert.sabo.pref.gifu.lg.jp/>

【静岡県】

静岡県土木総合防災情報

<http://sipos.pref.shizuoka.jp/sipos/>

静岡県統合基盤地理情報システム

<http://www.gis.pref.shizuoka.jp>

【長野県】

長野県河川砂防情報ステーション

<http://www.sabo-nagano.jp/dps/>



国土交通省

国土交通省 中部地方整備局 河川部
〒460-8541 名古屋市中区三の丸2-5-1
名古屋合同庁舎2号館 TEL:052-953-8148

平成25年11月8日作成v2.2